

『みんなでつなぐ 熊支のころ』 1学期を終えて

7月18日に1学期終業式を終えました。早い梅雨明けの後の猛暑とあって、終業式は体育館で行わず、各学年等で集会室等に集まり、各会場をリモートでつないで行いました。

終業式では、子どもたちに2つのことを話しました。一つ目は「つながり」。1学期の様々な活動のなかで見られたつながりの姿を、写真を基に紹介しました。

* 友達とのつながり

運動会や体育祭の様子。どの瞬間を切り取っても一人一人の頑張りと友達と協力して成し遂げる姿がありました。

* 交流校とのつながり

出水南小学校の友達との交流で本校1年生の子どもたちが南小4年生の友達と一緒に校内探検をしている様子。優しい関わり合いがそこにあり、これから1年間の交流が楽しみになります。そして、今年は「ゆうあい中学校」から運動会応援メッセージをいただき、新たなつながりが生まれました。

* ことばのつながり

中学部2年生は国語の時間に俳句を作り、現在廊下に掲示してあります。“夏”を様々なかたちや思いで捉えている個性豊かな俳句が生まれ、互いに鑑賞しました。ことばをとおして、作者（友達）の思いを感じる…こういうつながりもあるのだなと気付かされます。

* 学部を超えたつながり

先日、避難所体験を高等部3年生と小学部6年生が行った様子。高等部3年生は避難所を運営する側。小学部6年生は利用する側。簡易トイレや簡易ベッドの使い方、避難所での過ごし方（牛乳パックを使った簡単な遊び）などを共に学習しました。教え合い、助け合いの姿が自然に生まれていました。

学部を超えて、学校を超えてつながりが生まれ広がっていること、つながりのなかにある学びの姿が素晴らしい！と子どもたちに伝えました。

二つ目は、「大切な命を守る」ということです。熱中症、水遊びでの事故などに、まずは自分で気を付けること、大人の人と一緒に安全に余暇を楽しむこと、また、心に抱えている悩みや心配事についても誰かに相談してほしいことを伝えました。心や体が元気であること、大切な命を守ることを一層心掛け、9月1日に笑顔で会いましょうと伝えました。

冒頭のタイトル『みんなでつなぐ 熊支のころ』は体育祭で子どもたちが掲げたテーマです。この1学期、日常の学校生活にその心があった…と子どもたちの姿をとおして感じるとき、感謝の気持ちが湧いてきます。そういう姿を日々支えていただいた保護者の皆様、地域の皆様、この1学期も御支援いただきありがとうございました。皆様も、よい夏をお過ごしください。

熊本支援学校 上村美紀